

広島県リスキリング推進検討協議会最終報告書等について

1 要旨

本協議会では、昨年4月の設置以降、デジタル社会に対応した企業の成長と成長分野への円滑な労働移動の実現を目指し、リスキリングを推進する上での今後必要なスキルや働きながら学ぶために必要な労働環境・雇用管理、労働市場の流動化を踏まえた社会システム等のあり方をテーマとして、公労使の委員により議論を深めてきたところである。

この度、本協議会において最終報告書を取りまとめるとともに、県において企業向けリスキリング推進ガイドライン及び施策ロードマップを策定した（概要：別紙1）。

2 最終報告書（別紙2）

協議会における議論の内容を「最終報告書」として取りまとめ、7月31日に公表した。

【第1章】 経済成長・社会環境の現状と求められる対応

- 1.1 社会環境に関する現状認識
- 1.2 労働生産性向上への取組

【第2章】 企業におけるリスキリング推進のあり方

- 2.1 リスキリングの基本的な考え方
- 2.2 リスキリングの目的・効果
- 2.3 DX進展の全体像とスキルの整理
- 2.4 リスキリングに取り組む姿勢

【第3章】 労働市場の流動化を踏まえた社会システム等のあり方

- 3.1 労働市場の流動化による企業・労働者への影響
- 3.2 労働市場の流動化を踏まえた社会システム等のあり方

【附属資料】 部門別のDX進展段階、スキル整理表

3 県策定資料

最終報告書の内容を踏まえ、「リスキリング推進ガイドライン」及び「労働移動を円滑にするための施策ロードマップ」を県で策定し、8月10日に公表した。

ガイドライン (別紙3)	最終報告第2章を受け、県内企業がリスキリングを実践する際の取組指針として示すもの。 <構成>・社会経済環境の変化とリスキリングの必要性 ・リスキリングの基本的な考え方 ・リスキリングの目的・効果 ・DX進展の全体像とスキルの整理 ・リスキリングへの取組手順、ポイント ・企業の取組事例 ・附属資料（スキル整理表、県・国の施策一覧等）
ロードマップ (別紙4)	最終報告第2章及び第3章を受け、県で実施すべき施策の骨格を示すもの。 <構成>・目指すべき社会のあり方／確立すべき社会システム ・企業におけるリスキリングの推進

4 今後の施策展開

円滑な労働移動の実現のため、ロードマップの方針を踏まえ、最終報告書に掲げるリスキリング推進及び社会システム整備等に向けた関連事業において、次年度以降の支援策の具体化を行う。